

新たな甲府市総合計画策定のための

甲府市職員アンケート調査 結果報告書

平成27年2月

《目次》

I. 調査の概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 回答結果.....	1
5. 報告書の見方.....	1
II. 調査の結果.....	2
1. あなた自身のことについて.....	2
2. 甲府市の印象・イメージについて.....	4
(1) 住みやすさ.....	4
(2) 甲府市の印象・イメージ.....	7
3. 未来の甲府市のあるべき姿について.....	11
(1) 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード.....	11
(2) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力.....	14
4. これからのまちづくりについて.....	17
(1) 未来のまちづくり.....	17
(2) リニア中央新幹線の開業への期待.....	20
5. 市民と行政との協働について.....	23
(1) 市民と行政による協働のまちづくり.....	23
(2) 市民と行政が協働で取り組む分野.....	26
6. 甲府市のまちづくりへの提案.....	29

I. 調査の概要

1. 目的

この調査は、第五次甲府市総合計画（平成 18 年度策定）が平成 27 年度で終了することから、新たな総合計画の策定に向けた調査・検討の一環として、市職員の意見・提案を聴き、計画に反映させていくために実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査期間 平成 26 年 10 月
- (2) 調査対象 1 人 1 台パソコンの対象となっている職員
- (3) 対象者数 1,168 人
- (4) 調査方法 庁内 LAN の WEB による回答

3. 調査項目

- (1) あなた自身のことについて
- (2) 甲府市の印象・イメージについて
- (3) 未来の甲府市のあるべき姿について
- (4) これからのまちづくりについて
- (5) 市民と行政との協働について
- (6) 甲府市のまちづくりへの提案（自由意見）

4. 回答結果

- (1) 回答数 944 票
- (2) 回答率 80.8%
- (3) 有効回答数 944 票

5. 報告書の見方

- ・図表中の（n＝＊）は集計母数を表しています。
- ・回答の比率（％）は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると 100％を超えることがあります。
- ・回答の比率（％）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が 100％にならないことがあります。
- ・図表中の上段は実数（人）、下段は比率（％）を表しています。
- ・【市民との比較】については、別途実施した市民アンケート調査結果と比較しています。

Ⅱ. 調査の結果

1. あなた自身のことについて

(①～⑥それぞれについて○印は1つ)

①性別 ②年齢 ③居住地域 ④補職 ⑤職 ⑥在職年数

①性別について

性別については、「男性」が76.2%、「女性」が23.8%となっています。

	全体	男性	女性
実数	944	719	225
比率 (%)	100.0	76.2	23.8

②年齢について

年齢については、「50歳以上」が38.0%で最も多く、「40歳代」が30.7%、「30歳代」が18.5%、「18～29歳」が12.7%となっています。

項目 属性	全体	18 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 歳 以上
実数	944	120	175	290	359
比率 (%)	100.0	12.7	18.5	30.7	38.0

③居住地域

居住地域については、「市内」が76.7%、「市外」が23.3%となっています。

項目 属性	全体	市内	市外
実数	944	724	220
比率 (%)	100.0	76.7	23.3

④補職

補職については、「一般職」が45.3%で最も多く、「係長級」が40.1%で続きます。

項目 属性	全体	部長・室長級	課長級	係長級	一般職
実数	944	59	78	379	428
比率 (%)	100.0	6.2	8.3	40.1	45.3

⑤職

職については、「事務職員」が69.8%で最も多く、「技術職員」が28.2%で続きます。

項目 属性	全体	事務職員	技術職員	技能職員
実数	944	659	266	19
比率 (%)	100.0	69.8	28.2	2.0

⑥在職年数

在職年数については、「20年以上」が57.3%で最も多く、「10～20年未満」が22.0%で続きます。

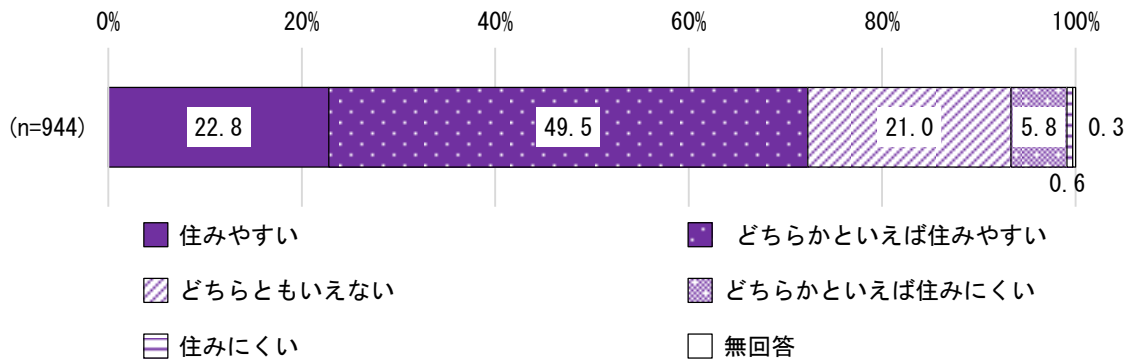
項目 属性	全体	3年未満	3～10年未満	10～20年未満	20年以上
実数	944	80	115	208	541
比率 (%)	100.0	8.5	12.2	22.0	57.3

2. 甲府市の印象・イメージについて

(1) 住みやすさ

問1. あなたは、甲府市は住みやすいまちだと思いますか。 (○印は1つ)

<全体>



◆甲府市を住みやすいまちだと思う人が70%を超える

甲府市の住みやすさとしては、「どちらかといえば住みやすい」が49.5%で最も多く、「住みやすい」が22.8%となっており、これらを合計した住みやすいと思う層は72.3%となっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合計した住みにくいと思う層は6.4%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

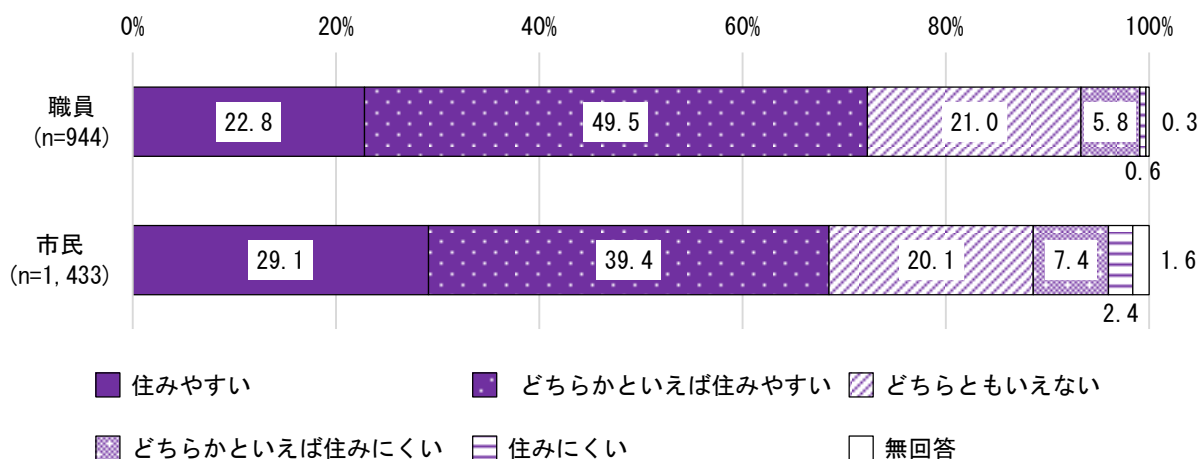
項目		全体	住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	無回答
属性									
全体		944 100.0	215 22.8	467 49.5	198 21.0	55 5.8	6 0.6	3 0.3	
性別	男性	719 100.0	171 23.8	348 48.4	150 20.9	43 6.0	5 0.7	2 0.3	
	女性	225 100.0	44 19.6	119 52.9	48 21.3	12 5.3	1 0.4	1 0.4	
年齢	18～ 29歳	120 100.0	22 18.3	65 54.2	22 18.3	11 9.2	0 0.0	0 0.0	
	30～ 39歳	175 100.0	35 20.0	78 44.6	40 22.9	18 10.3	3 1.7	1 0.6	
	40～ 49歳	290 100.0	70 24.1	143 49.3	61 21.0	12 4.1	2 0.7	2 0.7	
	50歳 以上	359 100.0	88 24.5	181 50.4	75 20.9	14 3.9	1 0.3	0 0.0	
	居住地域	市内	724 100.0	191 26.4	365 50.4	128 17.7	34 4.7	4 0.6	2 0.3
	市外	220 100.0	24 10.9	102 46.4	70 31.8	21 9.5	2 0.9	5 0.5	

性別にみると、男女とも全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

年齢別にみると、30歳代は、住みやすいと思う層が64.6%で、他の年齢が70%を超えているのと比べ少ない傾向がみられます。

居住地域別にみると、市内は、住みやすいと思う層が76.8%に達しています。一方、市外は、住みやすいと思う層が57.3%にとどまり、「どちらともいえない」が31.8%となっています。

【市民との比較】



市民と比較すると、「住みやすい」が6.3ポイント下回っているものの、「どちらかといえば住みやすい」が10.1ポイント上回っており「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計した住みやすいと思う層が72.3%で市民の68.5%よりやや多くなっています。

(2) 甲府市の印象・イメージ

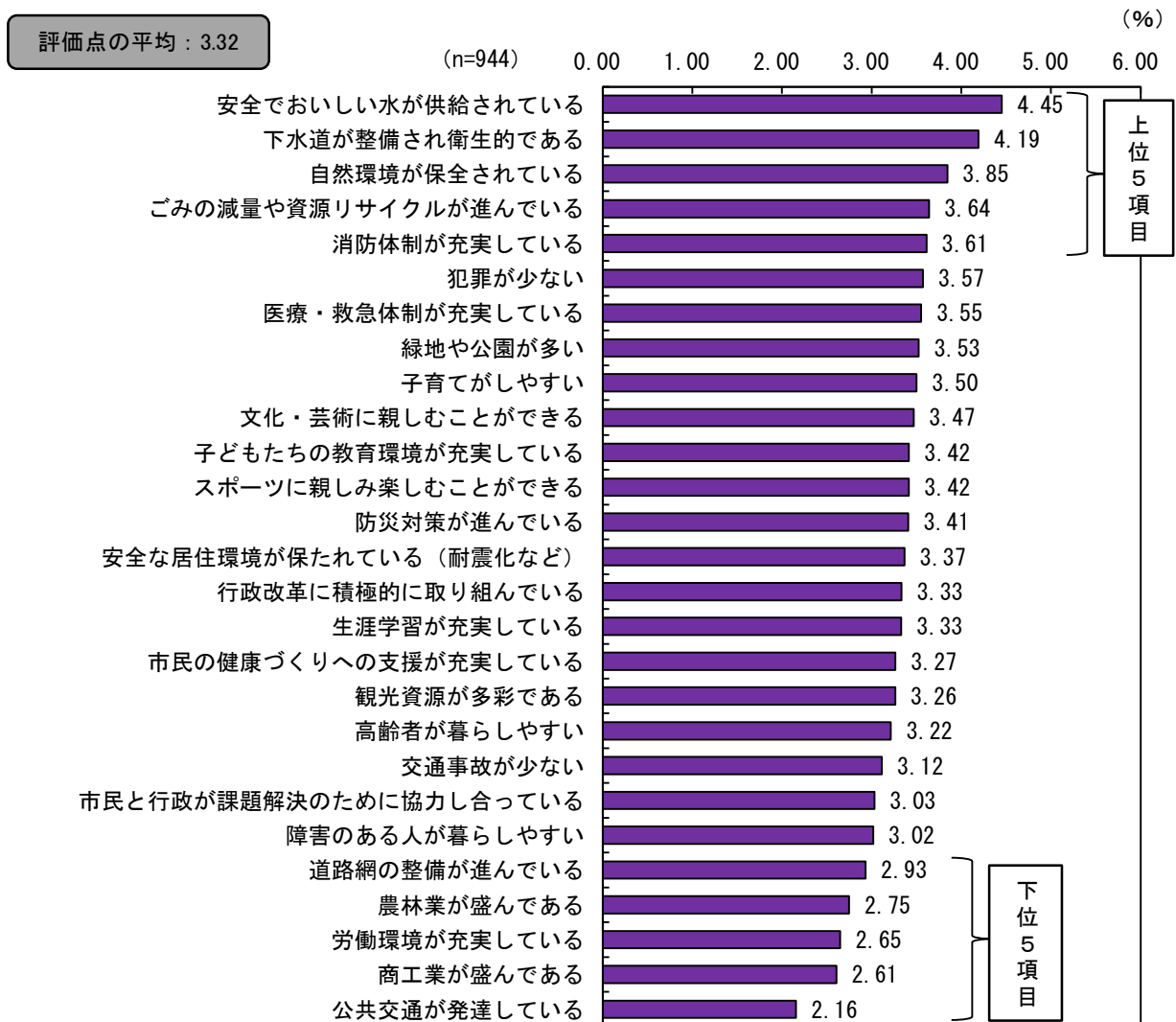
問2. あなたは、現在の甲府市についてどのような印象・イメージを持っていますか。
次の(1)～(27)のそれぞれについて、お答えください。(〇印は各項目1つずつ)

《集計方法とグラフの見方》

印象・イメージについて評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。問3については、「そう思う・少し思う・どちらでもない・あまり思わない・そう思わない」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を乗じ、その合計を全回答数（無回答を除く）で除して評価点としました。

したがって、5に近いほど肯定的な評価、1に近いほど否定的な評価とみることができます。

<全体>



◆生活・自然環境の分野の印象は良いが、産業や都市基盤の分野の印象は良くない

評価が高い5項目は、「安全でおいしい水が供給されている」(4.45)、「下水道が整備され衛生的である」(4.19)、「自然環境が保全されている」(3.85)、「ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる」(3.64)、「消防体制が充実している」(3.61)となっています。一方、評価が低い5項目は、「道路網の整備が進んでいる」(2.93)、「農林業が盛んである」(2.75)、

「労働環境が充実している」(2.65)、「商工業が盛んである」(2.61)、「公共交通が発達している」(2.16)となっています。

■印象・イメージの評価と順位 ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

分野	項目	印象・イメージ	
		評価点	順位
福祉・健康	(1) 子育てがしやすい	3.50	9
	(2) 高齢者が暮らしやすい	3.22	19
	(3) 障害のある人が暮らしやすい	3.02	22
	(4) 市民の健康づくりへの支援が充実している	3.27	17
	(5) 医療・救急体制が充実している	3.55	7
教育・文化	(6) 子どもたちの教育環境が充実している	3.42	11
	(7) 生涯学習が充実している	3.33	16
	(8) スポーツに親しみ楽しむことができる	3.42	12
	(9) 文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.47	10
生活・自然環境	(10) 自然環境が保全されている	3.85	3
	(11) 緑地や公園が多い	3.53	8
	(12) 安全な居住環境が保たれている(耐震化など)	3.37	14
	(13) 安全でおいしい水が供給されている	4.45	1
	(14) 下水道が整備され衛生的である	4.19	2
	(15) ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.64	4
	(16) 防災対策が進んでいる	3.41	13
	(17) 消防体制が充実している	3.61	5
	(18) 犯罪が少ない	3.57	6
産業	(19) 交通事故が少ない	3.12	20
	(20) 商工業が盛んである	2.61	26
	(21) 農林業が盛んである	2.75	24
	(22) 観光資源が多彩である	3.26	18
都市基盤	(23) 労働環境が充実している	2.65	25
	(24) 公共交通が発達している	2.16	27
	(25) 道路網の整備が進んでいる	2.93	23
行政運営	(26) 市民と行政が課題解決のために協力している	3.03	21
	(27) 行政改革に積極的に取り組んでいる	3.33	15
印象・イメージの評価点平均		3.32	—

生活・自然環境の分野には、全体の上位6位までが入っています。一方、産業、都市基盤の分野は、すべての項目が、下位10位内となっています。

<属性別> ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

分野	項目	全体	性別		年齢				居住地域	
			男性	女性	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	市内	市外
福祉・健康	(1) 子育てがしやすい	3.50	3.53	3.41	3.32	3.20	3.62	3.62	3.51	3.47
	(2) 高齢者が暮らしやすい	3.22	3.21	3.23	3.05	2.99	3.30	3.31	3.22	3.21
	(3) 障害のある人が暮らしやすい	3.02	3.01	3.04	3.06	2.83	3.02	3.09	2.99	3.11
	(4) 市民の健康づくりへの支援が充実している	3.27	3.25	3.32	3.37	3.10	3.20	3.36	3.26	3.30
	(5) 医療・救急体制が充実している	3.55	3.56	3.54	3.48	3.42	3.58	3.62	3.52	3.67
教育・文化	(6) 子どもたちの教育環境が充実している	3.42	3.43	3.36	3.33	3.19	3.46	3.52	3.40	3.49
	(7) 生涯学習が充実している	3.33	3.30	3.43	3.39	3.18	3.36	3.36	3.29	3.47
	(8) スポーツに親しみ楽しむことができる	3.42	3.43	3.37	3.64	3.30	3.38	3.42	3.41	3.44
	(9) 文化・芸術に親しむことができる	3.47	3.45	3.54	3.68	3.48	3.45	3.41	3.43	3.60
生活・自然環境	(10) 自然環境が保全されている	3.85	3.85	3.83	3.97	3.72	3.88	3.84	3.87	3.77
	(11) 緑地や公園が多い	3.53	3.55	3.46	3.68	3.37	3.57	3.51	3.53	3.52
	(12) 安全な居住環境が保たれている(耐震化など)	3.37	3.40	3.26	3.34	3.21	3.41	3.42	3.38	3.33
	(13) 安全でおいしい水が供給されている	4.45	4.45	4.45	4.45	4.31	4.45	4.52	4.50	4.29
	(14) 下水道が整備され衛生的である	4.19	4.19	4.19	4.23	3.99	4.19	4.28	4.23	4.08
	(15) ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.64	3.67	3.54	3.49	3.39	3.65	3.80	3.63	3.68
	(16) 防災対策が進んでいる	3.41	3.44	3.31	3.37	3.21	3.41	3.52	3.39	3.48
	(17) 消防体制が充実している	3.61	3.66	3.46	3.49	3.36	3.60	3.79	3.58	3.72
	(18) 犯罪が少ない	3.57	3.60	3.48	3.49	3.41	3.57	3.68	3.59	3.52
	(19) 交通事故が少ない	3.12	3.13	3.06	3.06	2.94	3.05	3.28	3.10	3.17
産業	(20) 商工業が盛んである	2.61	2.60	2.64	2.56	2.53	2.56	2.70	2.57	2.73
	(21) 農林業が盛んである	2.75	2.71	2.87	3.01	2.83	2.65	2.70	2.75	2.75
	(22) 観光資源が多彩である	3.26	3.28	3.20	3.29	3.09	3.28	3.33	3.27	3.26
	(23) 労働環境が充実している	2.65	2.65	2.64	2.64	2.57	2.67	2.68	2.61	2.78
都市基盤	(24) 公共交通が発達している	2.16	2.17	2.11	1.94	2.03	2.12	2.32	2.06	2.48
	(25) 道路網の整備が進んでいる	2.93	2.95	2.88	2.94	2.83	2.88	3.03	2.88	3.10
行政運営	(26) 市民と行政が課題解決のために協力し合っている	3.03	3.03	3.02	3.08	2.83	2.97	3.16	3.02	3.05
	(27) 行政改革に積極的に取り組んでいる	3.33	3.38	3.17	3.24	3.03	3.31	3.53	3.33	3.33
印象・イメージの評価点平均		3.32	3.33	3.29	3.32	3.16	3.32	3.40	3.31	3.36

性別にみると、男性は女性と比べて、全体の評価点平均が高くなっています。また、男女とも上位10位内はほぼ同様ですが、「(1)子育てがしやすい」と「(7)生涯学習が充実している」の評価が異なります。

年齢別にみると、30歳代は、評価点平均が低く、一方、50歳以上は評価点平均が高くなっています。また、全体の回答傾向と異なり、18～29歳及び30歳代では「(8)スポーツに親しみ楽しむことができる」、40歳代及び50歳以上では「(1)子育てがしやすい」「(6)子どもたちの教育環境が充実している」が上位に入っています。更に、50歳以上では「(16)防災対策が進んでいる」「(27)行政改革に積極的に取り組んでいる」も上位に入っており、全体の評価と比べて高くなっています。

居住地域別にみると、市外は全体の評価点平均が市内より高くなっています。また、市内では「(1)子育てがしやすい」、市外では「(6)子どもたちの教育環境が充実している」が上位に入っています。

【市民との比較】

■印象・イメージの評価と順位 ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

分野	項目	職員(n=944)		市民(n=1,433)	
		評価点	順位	評価点	順位
福祉・健康	(1) 子育てがしやすい	3.50	9	3.33	9
	(2) 高齢者が暮らしやすい	3.22	19	3.06	14
	(3) 障害のある人が暮らしやすい	3.02	22	2.75	21
	(4) 市民の健康づくりへの支援が充実している	3.27	17	3.05	16
	(5) 医療・救急体制が充実している	3.55	7	3.35	8
教育・文化	(6) 子どもたちの教育環境が充実している	3.42	11	3.13	13
	(7) 生涯学習が充実している	3.33	16	3.01	17
	(8) スポーツに親しみ楽しむことができる	3.42	12	3.22	11
	(9) 文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.47	10	3.32	10
生活・自然環境	(10) 自然環境が保全されている	3.85	3	3.53	4
	(11) 緑地や公園が多い	3.53	8	3.41	6
	(12) 安全な居住環境が保たれている(耐震化など)	3.37	14	3.06	15
	(13) 安全でおいしい水が供給されている	4.45	1	4.01	1
	(14) 下水道が整備され衛生的である	4.19	2	3.97	2
	(15) ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.64	4	3.61	3
	(16) 防災対策が進んでいる	3.41	13	3.21	12
	(17) 消防体制が充実している	3.61	5	3.38	7
	(18) 犯罪が少ない	3.57	6	3.44	5
産業	(19) 交通事故が少ない	3.12	20	2.99	19
	(20) 商工業が盛んである	2.61	26	2.44	26
	(21) 農林業が盛んである	2.75	24	2.61	24
	(22) 観光資源が多彩である	3.26	18	3.00	18
都市基盤	(23) 労働環境が充実している	2.65	25	2.50	25
	(24) 公共交通が発達している	2.16	27	2.27	27
	(25) 道路網の整備が進んでいる	2.93	23	2.84	20
行政運営	(26) 市民と行政が課題解決のために協力し合っている	3.03	21	2.63	22
	(27) 行政改革に積極的に取り組んでいる	3.33	15	2.61	23
印象・イメージの評価点平均		3.32	—	3.10	—

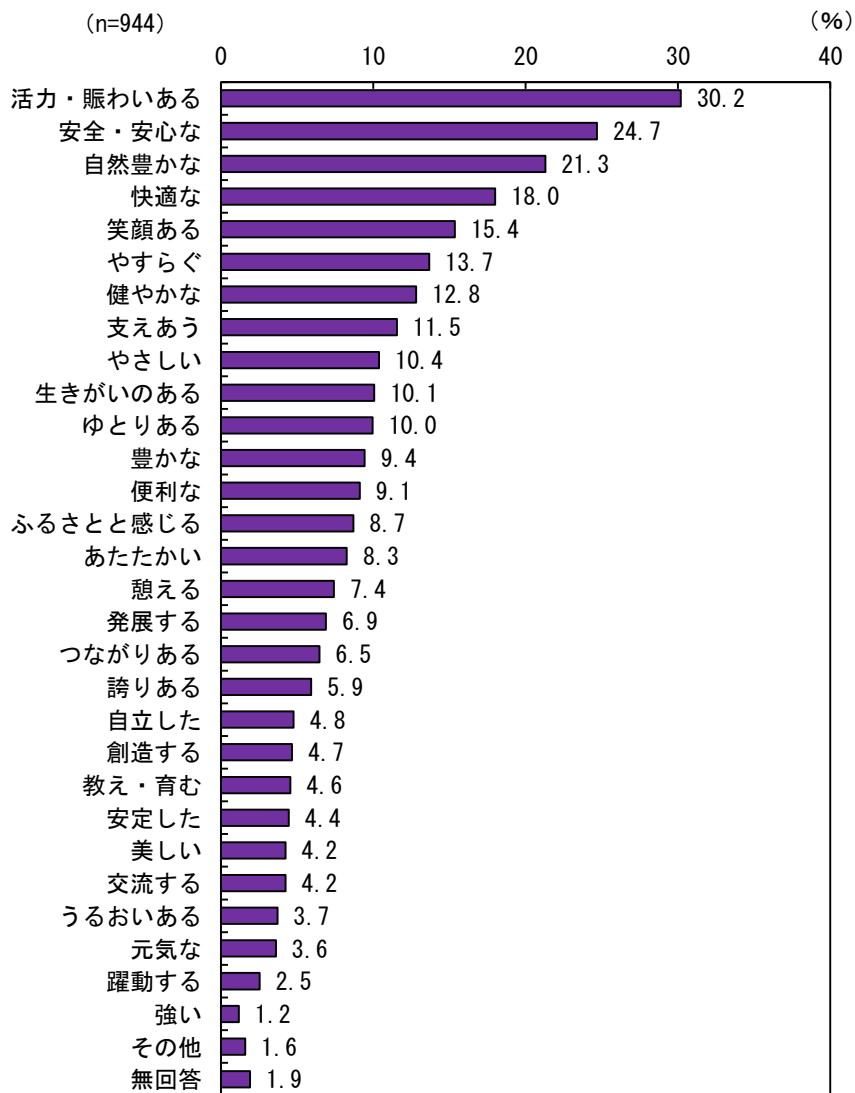
市民と比較すると、全体の評価点平均が高くなっています。また、上位及び下位の回答傾向に大きな違いはみられませんが、「(27)行政改革に積極的に取り組んでいる」については、市民より評価が高くなっています。

3. 未来の甲府市のあるべき姿について

(1) 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード

問3. あなたが描く未来の甲府市の姿として、どのようなキーワードがふさわしいと思いますか。
(○印は3つまで)

<全体>



◆未来の甲府市の姿にふさわしいキーワードは、「活力・賑わいある」が最も多い

未来の甲府市の姿にふさわしいキーワードとしては、「活力・賑わいある」が 30.2%、「安全・安心な」が 24.7%、「自然豊かな」が 21.3%で上位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	あたたかい	やさしい	やすらぐ	憩える	ある うるおい	ゆとり ある	健やかな	笑顔 ある	誇り ある	ある 生きがいの	豊かな	発展 する	便利 な	快適 な	交流 する	躍動 する	
全体	944 100.0	78 8.3	98 10.4	129 13.7	70 7.4	35 3.7	94 10.0	121 12.8	145 15.4	56 5.9	95 10.1	89 9.4	65 6.9	86 9.1	170 18.0	40 4.2	24 2.5	
性別	男性	719 100.0	54 7.5	83 11.5	103 14.3	54 7.5	27 3.8	71 9.9	82 11.4	106 14.7	45 6.3	75 10.4	55 7.6	55 7.6	66 9.2	134 18.6	31 4.3	18 2.5
	女性	225 100.0	24 10.7	15 6.7	26 11.6	16 7.1	8 3.6	23 10.2	39 17.3	39 17.3	11 4.9	20 8.9	34 15.1	10 4.4	20 8.9	36 16.0	9 4.0	6 2.7
年齢	18～ 29歳	120 100.0	12 10.0	4 3.3	10 8.3	6 5.0	1 0.8	6 5.0	9 7.5	15 12.5	12 10.0	10 8.3	19 15.8	17 14.2	17 14.2	25 20.8	5 4.2	1 0.8
	30～ 39歳	175 100.0	13 7.4	11 6.3	21 12.0	13 7.4	6 3.4	14 8.0	21 12.0	31 17.7	10 5.7	9 5.1	23 13.1	17 9.7	17 9.7	25 14.3	4 2.3	1 0.6
	40～ 49歳	290 100.0	36 12.4	34 11.7	43 14.8	17 5.9	10 3.4	35 12.1	42 14.5	38 13.1	18 6.2	28 9.7	19 6.6	19 6.6	29 10.0	42 14.5	16 5.5	12 4.1
	50歳 以上	359 100.0	17 4.7	49 13.6	55 15.3	34 9.5	18 5.0	39 10.9	49 13.6	61 17.0	16 4.5	48 13.4	28 7.8	12 3.3	23 6.4	78 21.7	15 4.2	10 2.8
	居住 地域	市内	724 100.0	61 8.4	71 9.8	101 14.0	55 7.6	28 3.9	76 10.5	103 14.2	103 14.2	41 5.7	73 10.1	72 9.9	46 6.4	59 8.1	129 17.8	27 3.7
	市外	220 100.0	17 7.7	27 12.3	28 12.7	15 6.8	7 3.2	18 8.2	18 8.2	42 19.1	15 6.8	22 10.0	17 7.7	19 8.6	27 12.3	41 18.6	13 5.9	6 2.7

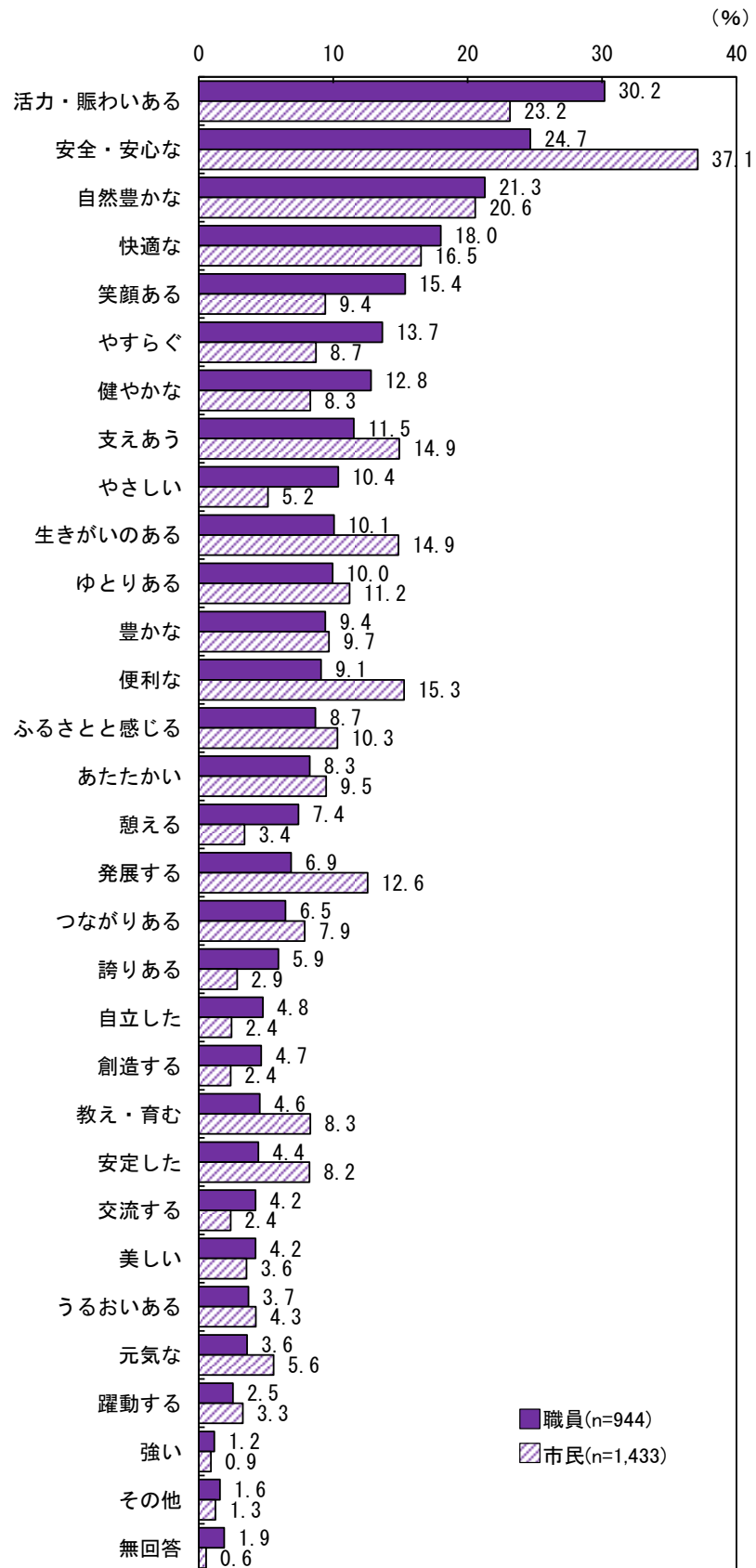
項目 属性	全体	元気 な	活力・ 賑わい ある	強い	創造 する	ある	つなが り	支えあ う	教え・ 育む	自立 した	安定 した	安心 な	安全・ 安心な	自然 豊かな	感じる	ふるさ とと	美しい	その他	無回 答
全体	944 100.0	34 3.6	285 30.2	11 1.2	44 4.7	61 6.5	109 11.5	43 4.6	45 4.8	42 4.4	233 24.7	201 21.3	82 8.7	40 4.2	15 1.6	18 1.9			
性別	男性	719 100.0	29 4.0	216 30.0	11 1.5	36 5.0	40 5.6	74 10.3	33 4.6	38 5.3	35 4.9	181 25.2	151 21.0	66 9.2	31 4.3	12 1.7	14 1.9		
	女性	225 100.0	5 2.2	69 30.7	0 0.0	8 3.6	21 9.3	35 15.6	10 4.4	7 3.1	7 3.1	52 23.1	50 22.2	16 7.1	9 4.0	3 1.3	4 1.8		
年齢	18～ 29歳	120 100.0	3 2.5	44 36.7	2 1.7	7 5.8	9 7.5	8 6.7	6 5.0	9 7.5	8 6.7	17 14.2	26 21.7	12 10.0	8 6.7	1 0.8	2 1.7		
	30～ 39歳	175 100.0	7 4.0	68 38.9	4 2.3	4 2.3	14 8.0	16 9.1	12 6.9	8 4.6	11 6.3	42 24.0	35 20.0	21 12.0	11 6.3	4 2.3	2 1.1		
	40～ 49歳	290 100.0	11 3.8	69 23.8	3 1.0	14 4.8	23 7.9	41 14.1	19 6.6	13 4.5	9 3.1	67 23.1	61 21.0	21 7.2	14 4.8	3 1.0	6 2.1		
	50歳 以上	359 100.0	13 3.6	104 29.0	2 0.6	19 5.3	15 4.2	44 12.3	6 1.7	15 4.2	14 3.9	107 29.8	79 22.0	28 7.8	7 1.9	7 1.9	8 2.2		
	居住 地域	市内	724 100.0	28 3.9	207 28.6	8 1.1	33 4.6	48 6.6	88 12.2	30 4.1	38 5.2	31 4.3	181 25.0	154 21.3	67 9.3	29 4.0	12 1.7	15 2.1	
	市外	220 100.0	6 2.7	78 35.5	3 1.4	11 5.0	13 5.9	21 9.5	13 5.9	7 3.2	11 5.0	52 23.6	47 21.4	15 6.8	11 5.0	3 1.4	3 1.4		

性別にみると、男女とも上位の回答傾向は同様となっています。

年齢別にみると、50歳代では「安全・安心な」が最も多くなっています。また、18～29歳では「快適な」が上位に入っています。

居住地域別にみると、市内・市外とも上位の回答傾向は同様ですが、市外は「活力・賑わいある」が市内を6.9ポイント上回っています。

【市民との比較】

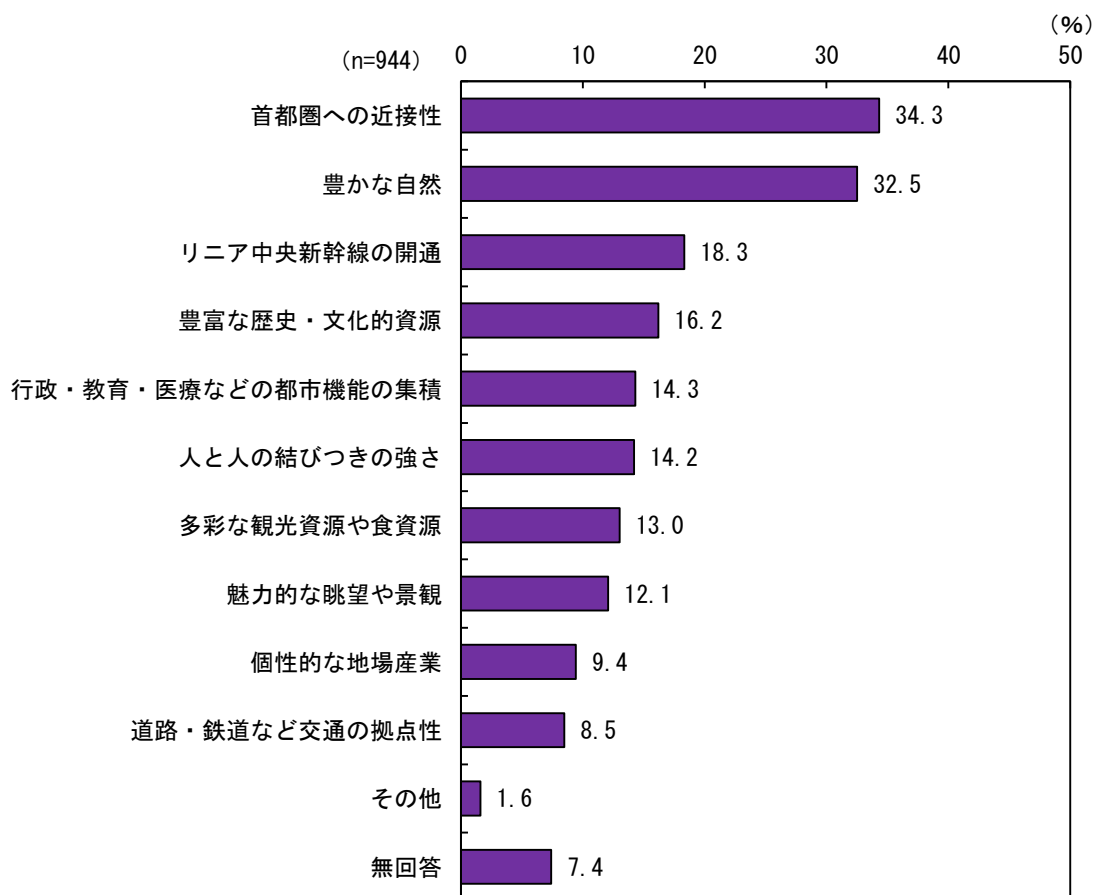


市民と比較すると、「活力・賑わいある」が最も多く、市民を 7.0 ポイント上回っている一方、「安全・安心な」は 12.4 ポイント下回っています。

(2) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力

問4. あなたの考える未来に活かしていきたい甲府市の魅力とは何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆未来に活かしていきたい甲府市の魅力は、首都圏への近接性と豊かな自然が多い

未来に活かしていきたい甲府市の魅力としては、「首都圏への近接性」が 34.3%、「豊かな自然」が 32.5%で上位となっています。このほか、「リニア中央新幹線の開通」が 18.3%、「豊かな歴史・文化的資源」が 16.2%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

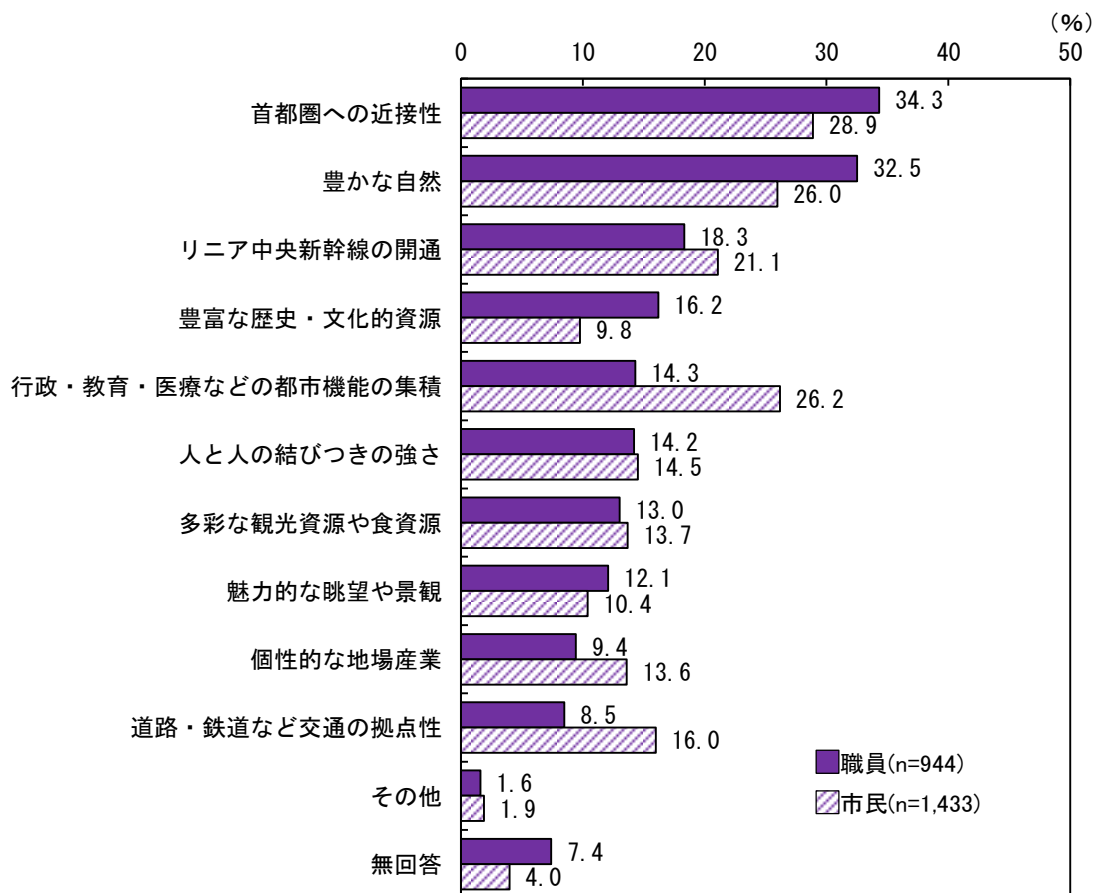
項目 属性	全体	首都圏への近接性	拠点性 道路・鉄道など交通の	都市機能の集積 行政・教育・医療などの	リニア中央新幹線の開通	人と人の結びつきの強さ	豊富な歴史・文化的資源	豊かな自然	個性的な地場産業	多彩な観光資源や食資源	魅力的な眺望や景観	その他	無回答	
	全体	944 100.0	324 34.3	80 8.5	135 14.3	173 18.3	134 14.2	153 16.2	307 32.5	89 9.4	123 13.0	114 12.1	15 1.6	70 7.4
性別	男性	719 100.0	239 33.2	68 9.5	113 15.7	135 18.8	103 14.3	127 17.7	218 30.3	62 8.6	92 12.8	89 12.4	11 1.5	51 7.1
	女性	225 100.0	85 37.8	12 5.3	22 9.8	38 16.9	31 13.8	26 11.6	89 39.6	27 12.0	31 13.8	25 11.1	4 1.8	19 8.4
年齢	18～ 29歳	120 100.0	48 40.0	8 6.7	15 12.5	26 21.7	15 12.5	21 17.5	34 28.3	8 6.7	17 14.2	24 20.0	1 0.8	7 5.8
	30～ 39歳	175 100.0	71 40.6	11 6.3	20 11.4	30 17.1	21 12.0	22 12.6	64 36.6	12 6.9	28 16.0	20 11.4	1 0.6	14 8.0
	40～ 49歳	290 100.0	96 33.1	26 9.0	35 12.1	57 19.7	47 16.2	36 12.4	95 32.8	33 11.4	28 9.7	36 12.4	6 2.1	21 7.2
	50歳 以上	359 100.0	109 30.4	35 9.7	65 18.1	60 16.7	51 14.2	74 20.6	114 31.8	36 10.0	50 13.9	34 9.5	7 1.9	28 7.8
居住地域	市内	724 100.0	243 33.6	54 7.5	99 13.7	129 17.8	108 14.9	115 15.9	245 33.8	68 9.4	102 14.1	80 11.0	13 1.8	57 7.9
	市外	220 100.0	81 36.8	26 11.8	36 16.4	44 20.0	26 11.8	38 17.3	62 28.2	21 9.5	21 9.5	34 15.5	2 0.9	13 5.9

性別にみると、男性は「首都圏への近接性」、女性は「豊かな自然」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18歳～40歳代では「首都圏への近接性」、50歳以上では「豊かな自然」が最も多くなっています。また、50歳以上では「豊富な歴史・文化的資源」が上位に入っています。

居住地域別にみると、市内では「豊かな自然」、市外では「首都圏への近接性」が最も多くなっています。

【市民との比較】



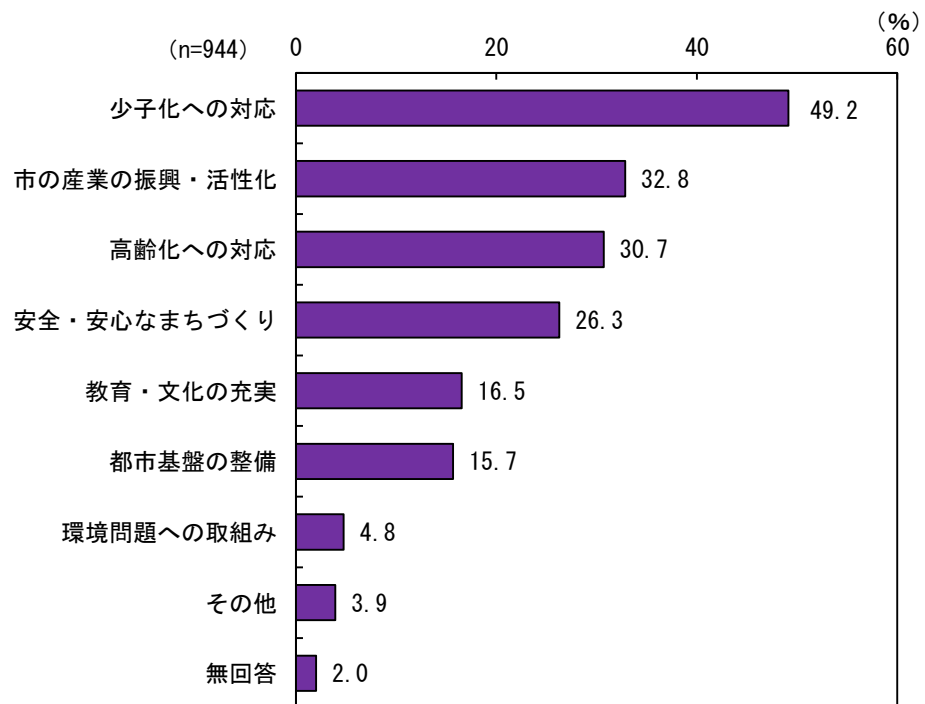
市民と比較すると、「首都圏への近接性」と「豊かな自然」については上回っており、「行政・教育・医療などの都市機能の集積」については、大きく下回っています。

4. これからのまちづくりについて

(1) 未来のまちづくり

問5. あなたは、未来のまちづくりに向け、特にどのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで) また、その項目を選んだ理由をお書きください。

<全体>



◆未来のまちづくりは少子化対策が特に重要

未来のまちづくりに向けて特に重要なこととしては、「少子化への対応」が 49.2%で最も多くなっています。このほか、「市の産業の振興・活性化」が 32.8%、「高齢化への対応」が 30.7%、「安全・安心なまちづくり」が 26.3%で続きます。

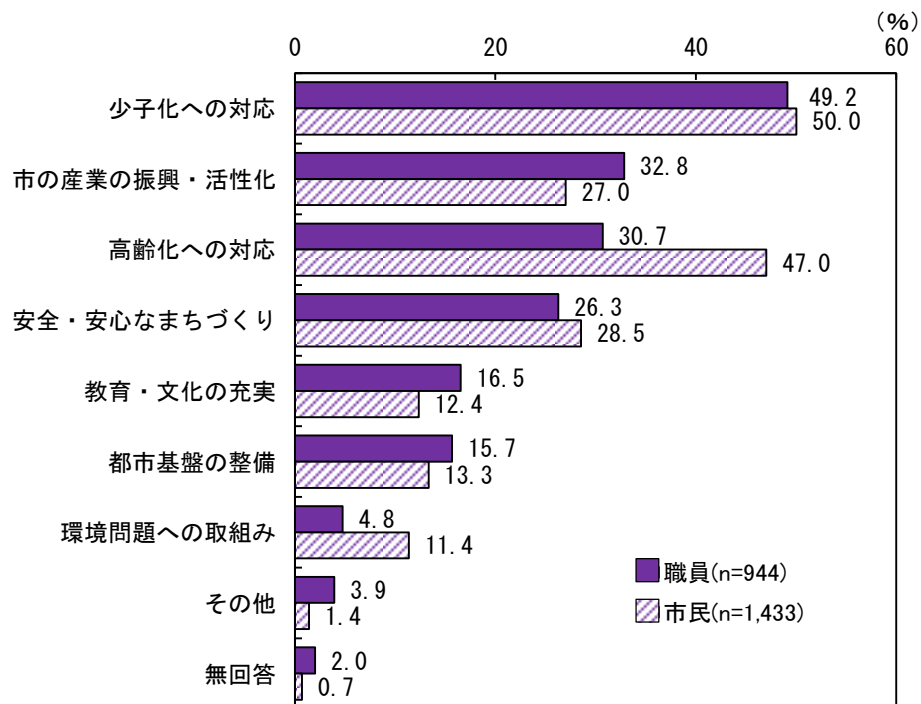
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	少子化への対応	高齢化への対応	安全・安心なまちづくり	活性化	市の産業の振興・活性化	環境問題への取り組み	都市基盤の整備	教育・文化の充実	その他	無回答
属性												
全体		944 100.0	464 49.2	290 30.7	248 26.3	310 32.8	45 4.8	148 15.7	156 16.5	37 3.9	19 2.0	
性別	男性	719 100.0	366 50.9	223 31.0	183 25.5	234 32.5	31 4.3	120 16.7	108 15.0	28 3.9	11 1.5	
	女性	225 100.0	98 43.6	67 29.8	65 28.9	76 33.8	14 6.2	28 12.4	48 21.3	9 4.0	8 3.6	
年齢	18～29歳	120 100.0	60 50.0	31 25.8	13 10.8	57 47.5	1 0.8	29 24.2	20 16.7	6 5.0	2 1.7	
	30～39歳	175 100.0	89 50.9	46 26.3	31 17.7	70 40.0	7 4.0	32 18.3	24 13.7	8 4.6	5 2.9	
	40～49歳	290 100.0	147 50.7	83 28.6	90 31.0	75 25.9	14 4.8	41 14.1	58 20.0	12 4.1	6 2.1	
	50歳以上	359 100.0	168 46.8	130 36.2	114 31.8	108 30.1	23 6.4	46 12.8	54 15.0	11 3.1	6 1.7	
居住地域	市内	724 100.0	353 48.8	224 30.9	188 26.0	235 32.5	31 4.3	115 15.9	130 18.0	31 4.3	14 1.9	
	市外	220 100.0	111 50.5	66 30.0	60 27.3	75 34.1	14 6.4	33 15.0	26 11.8	6 2.7	5 2.3	

性別にみると、男女とも上位の回答傾向は同様ですが、男性は「少子化への対応」が女性を7.3ポイント上回っています。

年齢別にみると、40歳代及び50歳以上では「安全・安心なまちづくり」が上位に入っています。居住地域別にみて、市内・市外の回答傾向に大きな違いはありません。

【市民との比較】

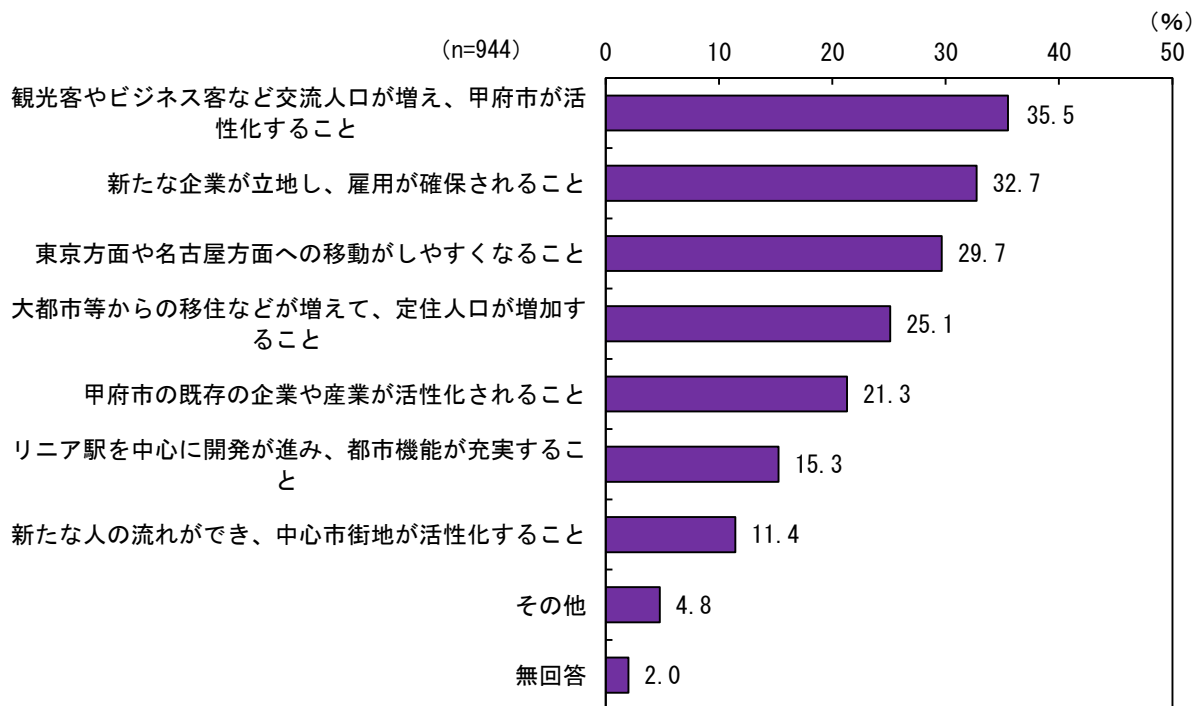


市民と比較すると、「少子化への対応」が最も多いことは同様ですが、「高齢化への対応」よりも「市の産業の振興・活性化」が多くなっています。

(2) リニア中央新幹線の開業への期待

問6. あなたが、リニア中央新幹線の開業に期待することは何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆リニア開業への期待は、交流人口の増加や雇用創出、東京・名古屋とのアクセス向上が上位

リニア中央新幹線の開業に期待することとしては、「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」が 35.5%、「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」が 32.7%、「東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること」が 29.7%で上位となっています。このほか、「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が 25.1%、「甲府市の既存の企業や産業が活性化されること」が 21.3%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

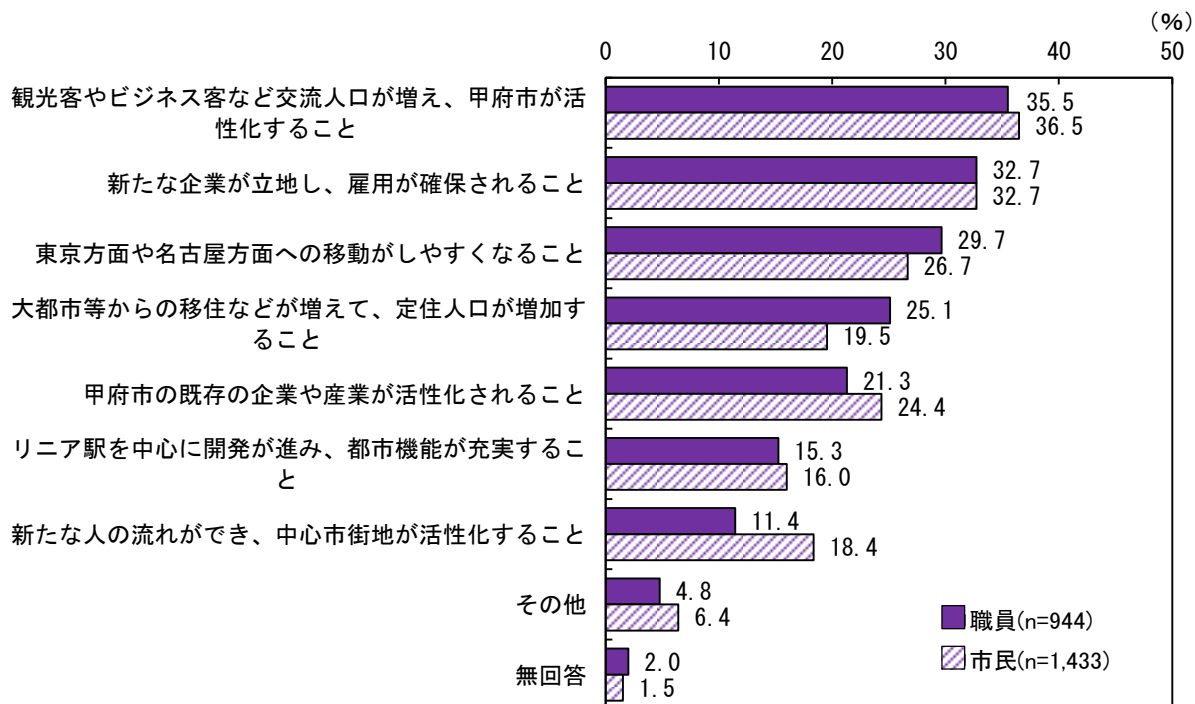
項目		全体	観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること	甲府市の既存の企業や産業が活性化されること	新たな人の流れができ、中心市街地が活性化すること	新たな企業が立地し、雇用が確保されること	大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること	リニア駅を中心に開発が進み、都市機能が充実すること	東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること	その他	無回答
属性											
全体		944 100.0	335 35.5	201 21.3	108 11.4	309 32.7	237 25.1	144 15.3	280 29.7	45 4.8	19 2.0
性別	男性	719 100.0	250 34.8	144 20.0	80 11.1	232 32.3	200 27.8	109 15.2	215 29.9	39 5.4	13 1.8
	女性	225 100.0	85 37.8	57 25.3	28 12.4	77 34.2	37 16.4	35 15.6	65 28.9	6 2.7	6 2.7
年齢	18～29歳	120 100.0	50 41.7	25 20.8	24 20.0	43 35.8	29 24.2	18 15.0	31 25.8	1 0.8	2 1.7
	30～39歳	175 100.0	66 37.7	35 20.0	23 13.1	48 27.4	39 22.3	28 16.0	54 30.9	8 4.6	2 1.1
	40～49歳	290 100.0	92 31.7	68 23.4	34 11.7	90 31.0	62 21.4	42 14.5	91 31.4	21 7.2	6 2.1
	50歳以上	359 100.0	127 35.4	73 20.3	27 7.5	128 35.7	107 29.8	56 15.6	104 29.0	15 4.2	9 2.5
居住地域	市内	724 100.0	250 34.5	146 20.2	83 11.5	240 33.1	184 25.4	116 16.0	217 30.0	36 5.0	15 2.1
	市外	220 100.0	85 38.6	55 25.0	25 11.4	69 31.4	53 24.1	28 12.7	63 28.6	9 4.1	4 1.8

性別にみると、男女とも上位の回答傾向は同様ですが、男性は「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が女性を11.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、18歳～40歳代は「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」、50歳以上は「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」がそれぞれ最も多くなっています。このほか、50歳以上は「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が上位に入っています。

居住地域別にみて、市内・市外の回答傾向に大きな違いはありません。

【市民との比較】



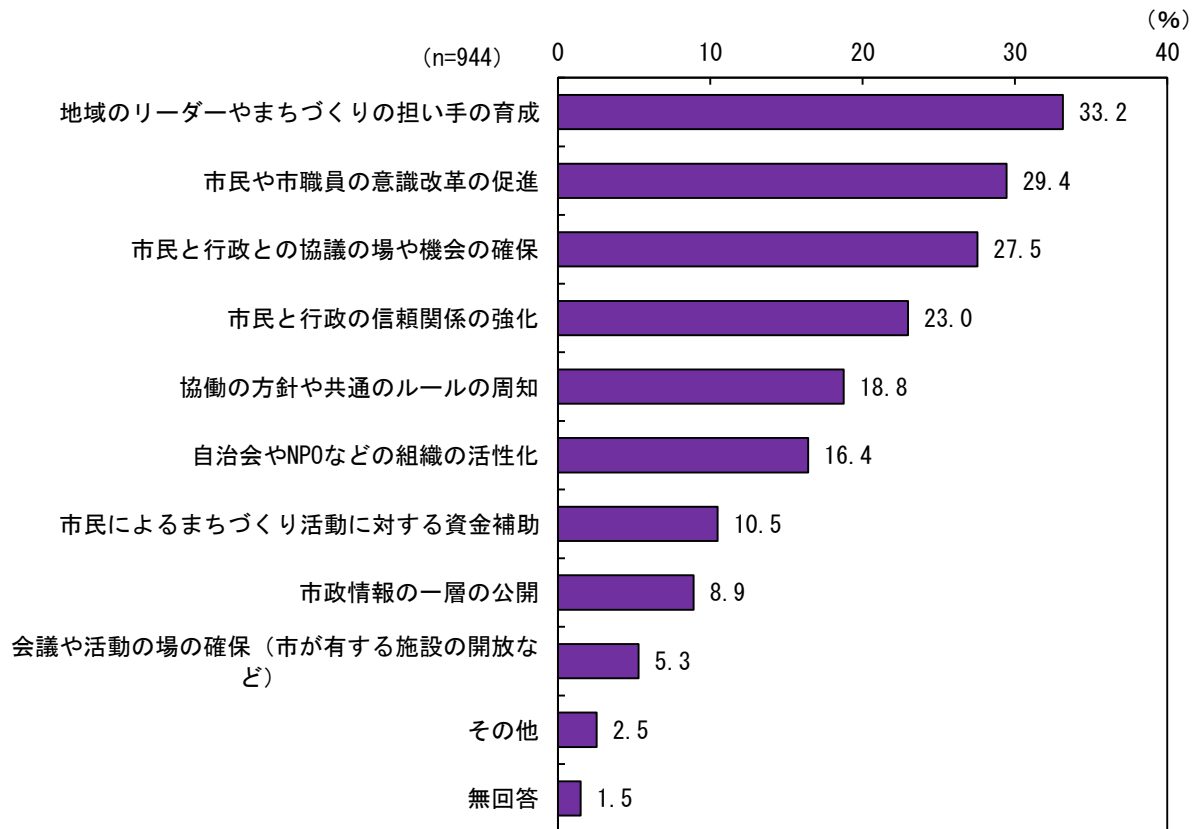
市民と比較して、回答傾向に大きな違いはありませんが、「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」については、5.6ポイント上回っています。

5. 市民と行政との協働について

(1) 市民と行政による協働のまちづくり

問7. まちづくり活動に参加しやすくし、より一層、市民と行政による協働のまちづくりを進めていくためには、今後行政においてどのような取組みが必要だと思いますか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆リーダーや担い手の育成、意識改革の促進、市民と行政との協議の機会確保が上位

市民と行政による協働のまちづくりを進めていくために、今後行政に必要な取組みとしては、「地域のリーダーやまちづくりの担い手の育成」が 33.2%、「市民や市職員の意識改革の促進」が 29.4%、「市民と行政との協議の場や機会の確保」が 27.5%で上位となっています。このほか、「市民と行政の信頼関係の強化」が 23.0%、「協働の方針や共通のルールの周知」が 18.8%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

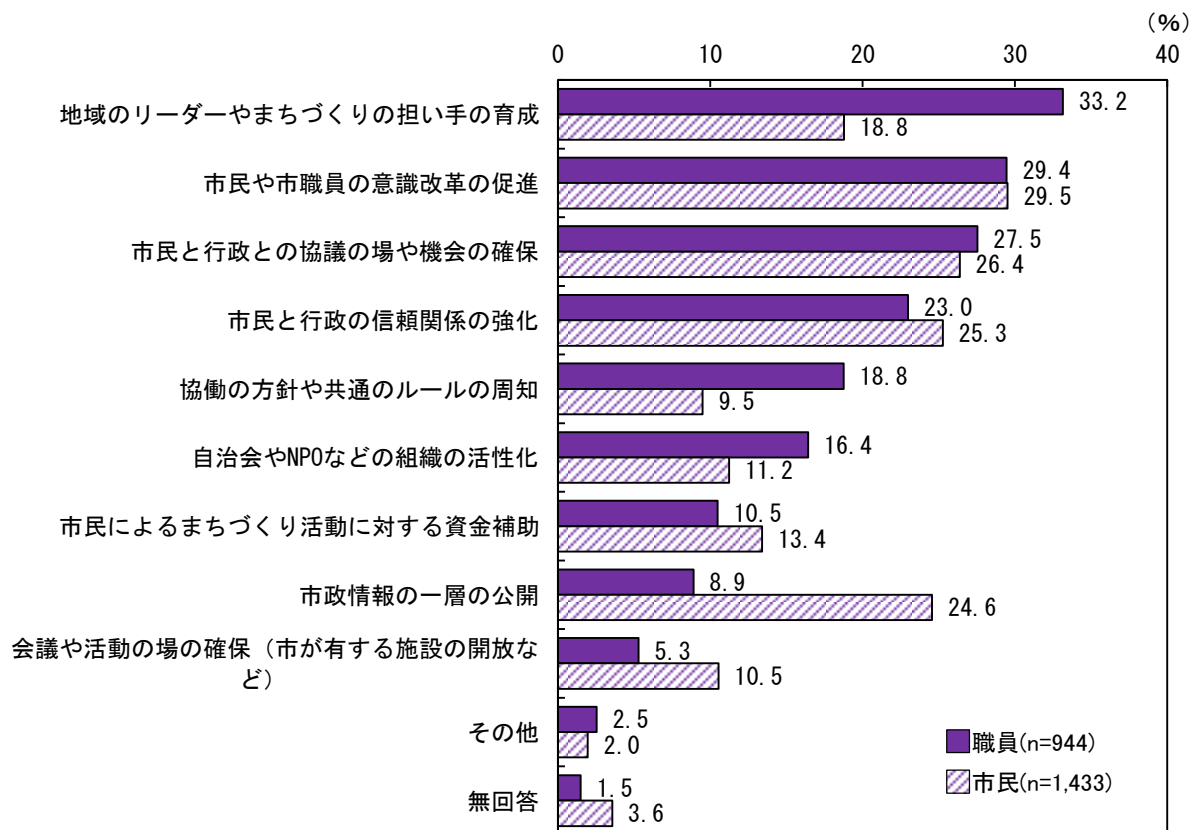
項目	全体	市政情報の一層の公開	市民と行政との協議の場や 機会の確保	会議や活動の場の確保 (市が有する施設の開放など)	協働の方針や共通のルール の周知	市民や市職員の意識改革の 促進	地域のリーダーやまちづくりの 担い手の育成	自治会やNPOなどの組織の 活性化	市民によるまちづくり活動に 対する資金補助	市民と行政の信頼関係の強化	その他	無回答	
属性													
全体	944 100.0	84 8.9	260 27.5	50 5.3	177 18.8	278 29.4	313 33.2	155 16.4	99 10.5	217 23.0	24 2.5	14 1.5	
性別	男性	719 100.0	74 10.3	199 27.7	36 5.0	137 19.1	223 31.0	239 33.2	117 16.3	69 9.6	166 23.1	19 2.6	10 1.4
	女性	225 100.0	10 4.4	61 27.1	14 6.2	40 17.8	55 24.4	74 32.9	38 16.9	30 13.3	51 22.7	5 2.2	4 1.8
年齢	18～ 29歳	120 100.0	13 10.8	44 36.7	4 3.3	26 21.7	36 30.0	33 27.5	13 10.8	9 7.5	34 28.3	0 0.0	2 1.7
	30～ 39歳	175 100.0	11 6.3	51 29.1	12 6.9	28 16.0	53 30.3	47 26.9	24 13.7	23 13.1	47 26.9	4 2.3	1 0.6
	40～ 49歳	290 100.0	18 6.2	72 24.8	14 4.8	53 18.3	82 28.3	94 32.4	53 18.3	29 10.0	64 22.1	8 2.8	8 2.8
	50歳 以上	359 100.0	42 11.7	93 25.9	20 5.6	70 19.5	107 29.8	139 38.7	65 18.1	38 10.6	72 20.1	12 3.3	3 0.8
居住地域	市内	724 100.0	58 8.0	200 27.6	40 5.5	136 18.8	209 28.9	241 33.3	127 17.5	81 11.2	159 22.0	18 2.5	12 1.7
	市外	220 100.0	26 11.8	60 27.3	10 4.5	41 18.6	69 31.4	72 32.7	28 12.7	18 8.2	58 26.4	6 2.7	2 0.9

性別にみると、男女とも上位の回答傾向は同様ですが、男性は「市民や市職員の意識改革の促進」が女性を6.6ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～29歳では「市民と行政との協議の場や機会の確保」、30歳代では「市民や市職員の意識改革の促進」が最も多くなっているほか、18～29歳及び30歳代では「市民と行政の信頼関係の強化」が上位に入っており、他の年齢と回答傾向に違いがみられます。

居住地域別にみて、市内・市外の回答傾向に大きな違いはありません。

【市民との比較】

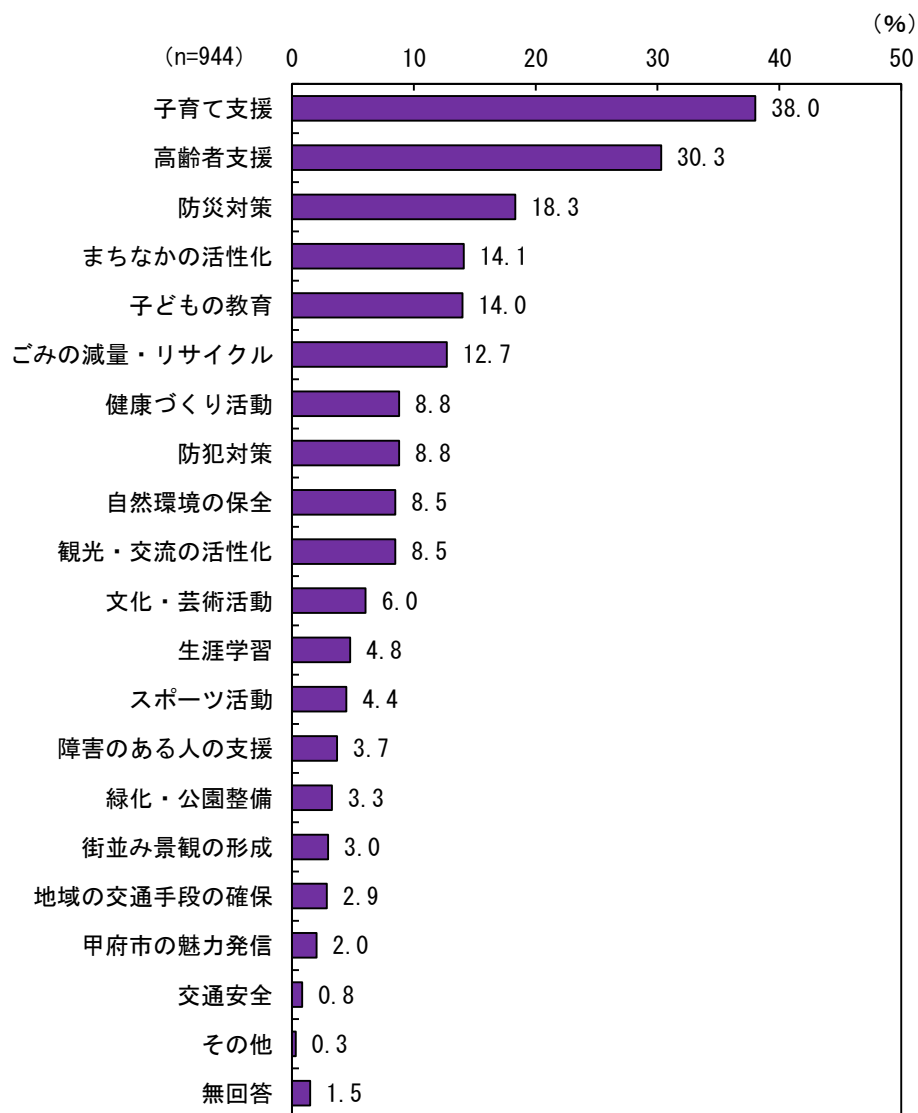


市民と比較すると、最も多い「地域のリーダーやまちづくりの担い手の育成」については、14.4ポイント上回っています。一方、「市政情報の一層の公開」については、15.7ポイント下回っています。

(2) 市民と行政が協働で取り組む分野

問8. あなたは、市民と行政が協働で取り組むことが必要な分野、あるいは取り組めば有効であると考えられる分野は、何だと思えますか。(〇印は3つまで)

<全体>



◆協働で取り組む分野は、子育て支援や高齢者支援が多い

市民と行政が協働で取り組むことが必要な分野、あるいは取り組めば有効であると考えられる分野としては、「子育て支援」が38.0%で最も多く、「高齢者支援」が30.3%、「防災対策」が18.3%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

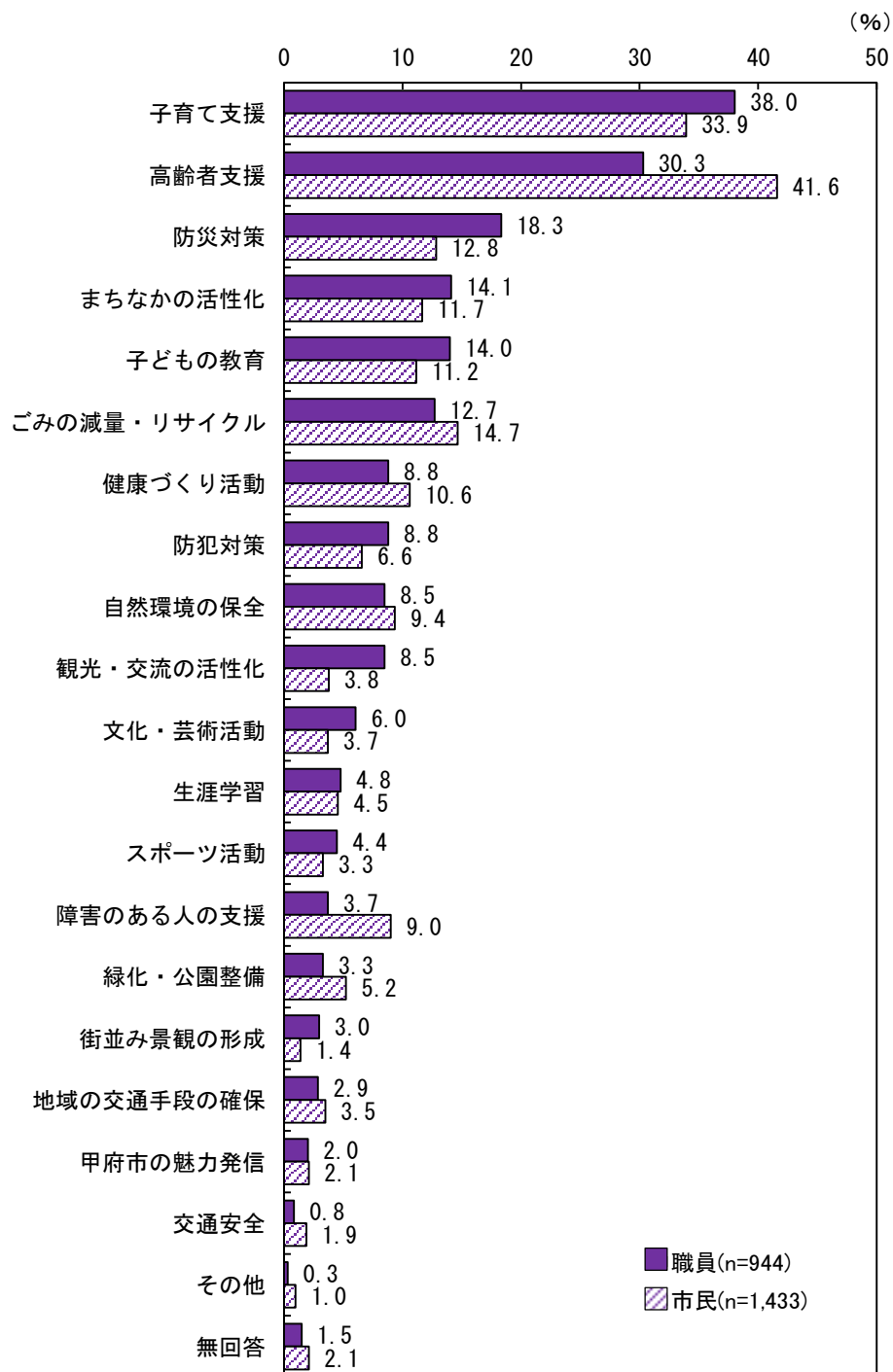
項目 属性	全体	子育て支援	高齢者支援	障害のある人の支援	健康づくり活動	子どもの教育	生涯学習	スポーツ活動	文化・芸術活動	自然環境の保全	緑化・公園整備	ごみの減量・リサイクル	防災対策	防犯対策	交通安全	まちなかの活性化	観光・交流の活性化	地域の交通手段の確保	街並み景観の形成	甲府市の魅力発信	その他	無回答	
	全体	944 100.0	359 38.0	286 30.3	35 3.7	83 8.8	132 14.0	45 4.8	42 4.4	57 6.0	80 8.5	31 3.3	120 12.7	173 18.3	83 8.8	8 0.8	133 14.1	80 8.5	27 2.9	28 3.0	19 2.0	3 0.3	14 1.5
性別	男性	719 100.0	267 37.1	215 29.9	37 5.1	65 9.0	110 15.3	42 5.8	55 7.6	58 8.1	73 10.2	36 5.0	115 16.0	190 26.4	124 17.2	20 2.8	166 23.1	111 15.4	67 9.3	69 9.6	118 16.4	5 0.7	9 1.3
	女性	225 100.0	92 40.9	71 31.6	17 7.6	28 12.4	42 18.7	9 4.0	5 2.2	14 6.2	20 8.9	6 2.7	38 16.9	57 25.3	51 22.7	8 3.6	46 20.4	30 13.3	21 9.3	16 7.1	31 13.8	1 0.4	5 2.2
年齢	18～29歳	120 100.0	48 40.0	29 24.2	11 9.2	6 5.0	20 16.7	4 3.3	11 9.2	11 9.2	9 7.5	7 5.8	8 6.7	25 20.8	13 10.8	5 4.2	40 33.3	33 27.5	9 7.5	15 12.5	28 23.3	1 0.8	0 0.0
	30～39歳	175 100.0	71 40.6	41 23.4	7 4.0	14 8.0	33 18.9	8 4.6	12 6.9	11 6.3	15 8.6	4 2.3	20 11.4	45 25.7	38 21.7	4 2.3	54 30.9	34 19.4	17 9.7	15 8.6	35 20.0	0 0.0	2 1.1
	40～49歳	290 100.0	110 37.9	80 27.6	13 4.5	31 10.7	51 17.6	18 6.2	17 5.9	24 8.3	22 7.6	12 4.1	50 17.2	77 26.6	55 19.0	12 4.1	51 17.6	37 12.8	27 9.3	24 8.3	44 15.2	3 1.0	8 2.8
	50歳以上	359 100.0	130 36.2	136 37.9	23 6.4	42 11.7	48 13.4	21 5.8	20 5.6	26 7.2	47 13.1	19 5.3	75 20.9	100 27.9	69 19.2	7 1.9	67 18.7	37 10.3	35 9.7	31 8.6	42 11.7	2 0.6	4 1.1
	居住地域	市内	724 100.0	286 39.5	223 30.8	40 5.5	66 9.1	124 17.1	38 5.2	45 6.2	53 7.3	63 8.7	30 4.1	119 16.4	189 26.1	130 18.0	21 2.9	161 22.2	107 14.8	75 10.4	67 9.3	111 15.3	4 0.6
市外	220 100.0	73 33.2	63 28.6	14 6.4	27 12.3	28 12.7	13 5.9	15 6.8	19 8.6	30 13.6	12 5.5	34 15.5	58 26.4	45 20.5	7 3.2	51 23.2	34 15.5	13 5.9	18 8.2	38 17.3	2 0.9	3 1.4	

性別にみると、男女とも上位の回答傾向は同様となっています。このほか、女性は「防犯対策」が男性を5.5ポイント上回っています。

年齢別にみると、18歳～40歳代では「子育て支援」、50歳以上では「高齢者支援」が最も多くなっています。また、18～29歳及び30歳代では「まちなかの活性化」、更に、18～29歳は「観光・交流の活性化」が上位に入っています。

居住地域別にみると、市内・市外とも上位の回答傾向は同様ですが、市内は「子育て支援」が市外を6.3ポイント上回っています。

【市民との比較】



市民と比較すると、「子育て支援」が最も多いのに対し、市民で最も多い「高齢者支援」については、11.3ポイント下回っています。

6. 甲府市のまちづくりへの提案

甲府市が今後力を入れていくべき政策や施策、具体的な事業などについて、ご意見やご提案をご自由にお書きください。

アンケートの回答者 944 人のうち、336 人（35.6%）から、延べ 442 件のご意見をいただきました。

ご意見は、7 項目に分類し、1 人の意見が複数の項目にわたる場合は、複数の意見として数えています。以下の意見概要については、比較的多かった内容を抽出して、個人情報などを除くとともに、より分かりやすくなるようご意見の趣旨が変わらない程度に要約しています。

《主な意見》

1. まちづくり全般について（57 件）

- ・人口減少の中でいかに人を集めるか、人に住んでもらえるかがもっとも重要な課題である。
- ・リニア中央新幹線の開通は甲府市を知ることや訪れることにつながる一方で、東京から名古屋（大阪）への移動の通過点に過ぎないと考える人も多いので、いかに市外・県外の方が甲府市に興味を持つかが重要である。
- ・定住人口や観光客をより増やしていくために、企業又は大学等の誘致が重要だ。雇用の増加、学生の増加により今以上に活気がふえ、市内で生産・消費・生活をするというサイクルが生まれてくるのではないか。
- ・国全体で人口減少が起きているので人口増を目論むには無理がある。今いる人たちが流出しないまちづくりが必要なのではないか。
- ・甲府市には歴史があり、素晴らしい文化があるので、これらを生かした特色あるまちづくりを進めていく。
- ・首都圏近郊であるうえ、周辺に自然の多いアウトドアな観光資源が多いことを活かし、甲府市に住みたいと思う独自の色を出せるような街づくりを目指すべきだと思う。
- ・予算を計画的に圧縮し、中心市街地の再生や観光行政に力を入れ、活力あるまち、住んでいる人々が甲府市に誇りが持てるまち、市外の方からも甲府市が魅力あるまちと思えるまちづくりを進めるべきだ。

2. 福祉・健康への支援について（74 件）

- ・子育てがしやすいまちづくりが必要だ。（保育、医療、教育など）
- ・女性が結婚して子どもを産みやすい環境を整備する。（雇用含む）
- ・若い世代が住みやすく、子供を育てやすい環境を整備する。
- ・医療費の無料化はその時限りでお金も効果も終わってしまうので、託児所の整備・充実など日々の子育てや就労支援に資するような、長期・広範囲にわたり効果のある施策に力を入れるべき。
- ・高齢者が安心して生活を送れる環境を整備する。
- ・高齢化と少子化対策の一つとして、高齢者の方たちの知恵や労働力を吸い上げることのできるような施策が求められている。

- ・元気な高齢者をうまく活用する。（ポイント制のボランティア活動、子育て支援、高齢者の集いの開催など）
- ・山梨県を健康寿命日本一とする研究成果を踏まえ、その要因を研究・分析して事業展開していく。
- ・高齢化が進み、民生費（医療費や生活保護費など）にかかる予算の増大が見込まれるので、これらの予算をなるべく圧縮するための施策や、健康寿命を延ばし、医療費を圧縮するための施策を積極的に進めるべきだ。

3. 教育・文化の振興について（22件）

- ・甲府市の教育水準の底上げをする。（ゆとり教育の廃止・塾に通えない子供たちの放課後教室など）
- ・子育て支援の一環として、義務教育できちんと基礎学力をつけられるような授業が行われること。
- ・甲府のまちを好きになってもらい、誇りに思ってもらうことが大切だと思う。そのためには、甲府の長い歴史や培われてきた文化・風俗、豊かな自然などを理解してもらうことが必要だ。
- ・甲府は、文化芸術に対する認識が低いように思うので、文化を育て、長く広い視野で未来に残していく必要がある。
- ・スポーツ振興に力を入れてほしい。ヴァンフォーレ甲府や、山梨学院大学等の社会資源を活用して人を呼び込む。

4. 生活・自然環境の向上について（30件）

- ・災害が起きても、市民の生命を守るということが大前提なので、防災訓練の積極的な参加や、通学路の安全対策、地域の防災・防犯等市民が主体となって行えるように考える必要がある。
- ・自然災害（台風、雪害）、大震災をふまえ、防災対策の見直し、前倒しが必要だ。
- ・災害の影響の少なさ（台風・地震など）をもっとPRすべきではないか。
- ・空き家対策を進める。
- ・次代に今の自然を引き継ぐためにも自然との共存を全面に出すべきだ。
- ・ごみの減量、リサイクルを進める。

5. 産業の振興について（65件）

- ・観光資源がそれほど多くあるわけではない本市において、観光・交流という切り口での農業振興施策が必要で、平地・丘陵地並びに山地それぞれについて特色ある位置づけが可能となる。
- ・甲府市の中央商店街をもっと賑わいのある場所にしなければならない。若者が集うような店を作るか、昔からの街並みを生かした大人をターゲットにした商店街を作るか、あるいはエリアによって、ターゲットを変えていくか。
- ・若い人、優秀な人材の流出を防ぐとともに、受け入れをするために、企業誘致（特に本社の誘致）等をしてほしい。
- ・人口を維持または少しでも増加を図るためには、生活の基盤となる雇用環境の新たな創出や拡充が重要で、単に企業を誘致するのではなく、地域に根ざしたものを創出することで、長

続きするのではないか。このような環境が整わないと、特に働き盛りの人や若者には、住みたくても住めない状況だと思う。

- ・リニア中央新幹線開業を視野に入れ、甲府市南部地域に企業誘致をし、雇用を確保する。
- ・中心商店街の賑わいを復活させるには、商店街の方の意識改革が必要である。
- ・人口減少時代をむかえている現状にあって、外からどれだけ多くの人が甲府を訪れ、甲府でお金をつかってくれるのかがキーワードになるので、交流人口の増加を促進する施策が必要になる。
- ・本市の貴重な観光資源を次世代に継承することが重要であり、そのための施策展開を図るべきである。
- ・中心市街地の活性化も重要だが、郊外を含め市全体の活性化ができる事業を推進していければよいと思う。

6. 都市基盤の整備について（94件）

- ・県外の観光客がまず目にするのは甲府駅前である。県内の人たちが甲府駅前にも集まるような商店街やショッピングモール等期待したい。
- ・市の中心部など甲府駅からは少し離れているので、少々不便を感じることもある。電車や路線バスなどの運行が増えると人の流れも多くなるのではないか。甲府駅を中心とした駐車場なども上手に活用できるようになれば、出かける人も多くなると思う。
- ・公共交通網が整備されていないので、自動車で移動することが多く、高齢者や身体に障がいを持った方の移動手段が少ない。
- ・高齢化の一層の進行により、自家用車等の移動手段を持たない高齢者がますます増加することから、公費の投入による公共交通の充実が必要である。
- ・リニア駅の周辺整備に併せた、リニア開業時を目標年度とする都市圏及び周辺市からの定住人口増加対策としての基盤整備を進める。
- ・リニア新幹線開通に伴い、甲府市の交通機関の整備を行っていく必要がある。
- ・リニア中央新幹線駅開業に合わせた市南部地域の開発・活性化を進める。
- ・耐用年数を迎える社会基盤インフラの更新・維持管理をいかにしていくかが重要だ。

7. 計画の推進について（100件）

- ・地域が活性化するには、市民と行政が協働することが不可欠だと思われるので、ボランティア活動などに市民が参加しやすい、または、参加してみたいくなるような施策があると良い。
- ・地域コミュニティは、多くの方が同じ目的や目標を共有しなければ成し得ないものだが、防犯・防災をキーワードにした「まちづくり」には、「自分の身を守る」という共通目的があることから、可能性があるような気がする。
- ・市民、企業、団体、大学、NPO、甲府市や山梨県などの行政などの役割を明確にし、まちづくりを担う実施主体と、知恵と力を合わせ協働する。また、部局間の横断的な取り組み、市民の自主的・自発的活動など、関係のある様々な取り組みとの「融合」を図る。
- ・若者の考えや意見を聴き、若者が住みやすい街づくりを推進することが必要で、そのために、既存の自治会などの組織や議員だけでなく SNS を活用した情報収集を進めていくことも必要だ。

- ・ 自助、共助、公助というのが現実には公助への期待が大きすぎるように感じている。少子高齢社会の中では自助の部分は難しくなるのかもしれないが、人口減少社会を考えるとこれまでのような公助はもっと困難になると思うので、施策や事業の中に協働に関する方針や一定のルールを設ける必要がある。
- ・ 現在、本市のみならず、どこの市町村も住民のニーズに十分応えるだけの財政基盤もなく職員も不足している状況である。このような状況においては、住民の理解を得る中で施策をしぼり込み、効果が出るまで 5～10 年間は集中して取り組み、次の施策に移行することを繰り返していく手法が必要と考える。
- ・ これから重要になってくるのは、地域の特徴に合わせた施策（市内全域標準化的なものではない）と、全国的にみて、話題になっている施策の模倣ではなく、本市の背景を踏まえた施策を開発する必要があると感じている。
- ・ 甲府の新しい魅力をつくるのではなく、今あるものを発見し、発信していくことが、甲府市民の甲府愛を深めるきっかけになる。
- ・ 甲府市が持っているたくさんの魅力的な部分を、外部にもっと PR していくと良いと思う。
- ・ 近隣の市町と連携し、広域的な都市形成もにらんでいかなければならないと思う。